

高橋 光昭

9 組

住所 〒555-0033 大阪府西淀川区姫島 3-3-26

リバーサイドビル姫島 1210

電話 06-6475-8471

E-mail takahashim11@sc.sumitomo-chem.co.jp

職業 住友化学工業(株)生産技術センター

A L S との闘い

2年前の平成13年5月ごろのことでした。左手の指先に軽い痺れを感じました。これが日本に5,000人しかいないという超難病のALS（筋萎縮性側索硬化症）の始まりだったとは夢にも思いませんでした。病気が左手から始まったため、日常生活には不便がなく半年ほどそのままにしていたのですが、良くなる兆しがないため整形外科医に診てもらいました。半年ほど通院しましたが効果がなく、神経内科に行くように言われたのが平成14年3月でした。その年の5月ALSとの告知を受けた。この病気は運動神経が死滅するため関連する筋肉が動かなくなり、3年から5年で80%の人が亡くなると言われている。病気の発症原因は不明で治療法もないとのこと。治療法はないと言われたが藁にもすがる思いで、高濃縮麦飯石抽出水や気攻や治験薬等を試してみたがどの方法も効果はなかった。呼吸筋が動かなくなった段階で呼吸器をつけるか、死を選ぶかの選択になる。小生は昨年9月に歩けなくなり会社も休職した。現在（平成15年9月）は手が殆ど動かなくなり、立つこともできず車椅子生活を送っている。最近は喋るときに言葉がもつれるようになり、食べるときに咽るようになってきた。この病気は進行性であるが、その進み具合や病状は個人差が大きい。私の場合は残念ながら進み具合が早いようである。病名の告知を受けた当初は、なぜ私がこのような恐ろしい難病に罹らなければならないのかとの思いが強く絶望感しか湧いてこなかったが、最近は人間は永遠に生きられるわけではなく、遅かれ早かれ死を迎えるのであり、残された余命をどう生きるかが大事だと自分に言い聞かせている。幸いなことに、家族をはじめ会社の方々や医者や看護婦やヘルパー等たくさんの方に支えられているので、毎日毎日を大事にして前向きに生きていこうと思っている。

闘病の甲斐無く、2004年11月26日ご逝去されました。

謹んでお悔やみ申し上げます。

編集責任者&幹事